

平成18年(2006年)2月7日 火曜日

## 梅田貨物駅 JR百済駅に移転

# 大阪市、着工合意へ

大阪駅前が開発計画が進む「梅田北ヤード」内にある梅田貨物駅の機能の半分を、大阪府吹田、摂津両市にまたがる吹田操車場跡地へ移転する計画で、残り半分の貨物駅機能の受け入れ先として最も有力な候補地だったJR百済駅(大阪市東住吉区)への移転計画が、鉄道建設・運輸施設整備支援機構と大阪市などの間でほぼ合意に達したことが六日、わかった。移転計画全体の実施には吹田操車場跡地、百済駅があるそれぞれの自治体の合意が必要。大阪市も移転に向けて動き出したことで、梅田北ヤードの開発計画が最後の難関をクリアした形になる。

今回の合意は、関淳一「る鉄道建設・運輸施設整備」の計画案の説明をおこなび平成十八年度の工事に大阪市長が「事業者であ一備支援機構が周辺住民へ一い、移転・改修計画およ一について、おおむね地元の

理解を得られた」とする文書を阪口善雄吹田市長に出したことで判明。

文書にはさらに、「鉄道建設・運輸施設整備支援機構がこれからも協議を続け、円滑な事業が行える状況になった」との内容が記されており、着工合意へ向け、事実上条件が整ったことになる。

吹田、摂津両市と大阪市の双方の合意により、梅田貨物駅の全機能の移転計画は、さらに具体性を増した。

吹田市では七日に市議会の全員協議会が開かれ、同問題についての最

終協議が行われるものの、協議会の決定事項には法的拘束力がなく、阪口市長は「協議会で十分に議論を尽くしたうえで調印にのぞむ」と表明。十日にも行われる同機構や吹田市、大阪府など関係五者が出席する会議で事業着手の合意協定書に調印する決意を固めている。

協定締結を受けて、吹田操車場跡地、百済駅とも、早ければ四月中にも工事が開始される予定で、関係地域は今後のまちづくりにもむけて大きく動き出す。

西支計工二第613号

平成18年1月11日

吹田市長

阪口 善雄 様

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

国鉄清算事業本部西日本支社長 増田 敏夫



梅田貨物駅の百済駅への移転計画の協議状況について（報告）

貴下 益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当鉄道・運輸機構の業務にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、平成11年1月20日に締結しました「梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画に関する基本協定書」に基づく梅田貨物駅に残る約半分の貨物の大阪市内での取扱いに関しましては、平成16年1月に大阪市に対して百済駅への移転計画を通知するとともに、地元住民に対する説明会を開催するなど移転に向けた協議を進めてきました。

鉄道・運輸機構では、この百済地区での協議経過を踏まえ、平成17年9月に「百済駅改修計画についての協議事項にかかる鉄道・運輸機構、JR貨物の考え方」をまとめ、平成18年4月からの百済駅改修工事着手を地元連合町会に伝えてまいりました。

これを受けて地元連合町会からは、平成17年10月21日付で「移転計画に対する要望書」が提出され、鉄道・運輸機構は、平成17年12月27日付でこの要望書に対する見解を示す中、改めて平成18年4月に事業に着手する旨を文書により回答してきたところでございます。

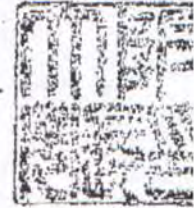
つきましては、関係各機関に対し百済駅の移転計画協議状況並びに本年4月からの百済駅改修工事着手についてご報告いたしますので、梅田貨物駅の機能の約半分を吹田地区へ移転することにつきましても、よろしくお取り計らいの程お願い申し上げます。

大計第 1728号

平成 18 年 2 月 3 日

吹田市長 阪口 善雄 様

大阪市長 關 淳 一



梅田貨物駅機能の百済駅への移転計画の状況について

(回 答)

平素は、本市行政にご理解・ご協力賜り御礼申し上げます。

平成 18 年 1 月 17 日付 17 吹企吹第 98-2 号で照会のありました梅田貨物駅機能の百済駅への移転計画につきましては、平成 16 年 2 月以来、事業者である鉄道・運輸機構が、周辺地域に計画案の説明を行い、地元自治体として、適宜、大阪市も出席してまいりましたが、平成 18 年 1 月 11 日付で同機構から、百済駅の改修工事を吹田貨物ターミナル(仮称)の新設工事と同時期の平成 18 年度早期に着手する旨の通知(別紙)を受けたところです。

また、その通知の中で、同機構は、「移転・改修計画及び平成 18 年度からの工事については、概ね地元町会等の理解が得られたものと考えている」との見通しを述べており、本市といたしましても、今後とも、同機構が関係住民と誠意をもって協議し、円滑な事業実施が図られるものと考えているところです。

なお、貴市において取組まれている吹田操車場跡地のまちづくりの企画にあたっては、本市のまちづくりの経験を踏まえ、担当部局を通じまして、種々の情報提供等協力させていただきたいと考えております。



西支計工第 634 号

平成 18 年 1 月 11 日

大阪市計画調整局長

箕田 幹 様

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

国鉄清算事業本部 西日本支社

支社長 増田



百済駅の改修工事着手について

平素は、機構の事業に格別のご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、百済駅への梅田貨物駅機能の移転に伴う同駅の改修計画につきまして  
は、平成 16 年 2 月以来、地元町会等に説明を行い、理解を求めてまいりましたが、  
環境に関する事後監視の方法などについては工事着手後も引き続き協議し  
ていくこととし、移転・改修計画及び平成 18 年度からの工事については、概ね  
地元町会等の理解が得られたものと考えております。

つきましては、百済駅の改修工事を、吹田貨物ターミナル(仮称)の新設工事と  
同時期の平成 18 年度早期に着手したいと考えておりますので、今後とも、ご協  
力を賜りますようお願い申し上げます。